

## 徳山で大誤審が発生

4月18日の徳山一般戦4日目6Rで前代未聞の大誤審が発生した。本当は4号艇が妨害失格のところを、全く無関係の5号艇に対して妨害失格を宣告するというあり得ない誤審。5号艇は舟券に絡む3着を走っていたので、その後の混乱は言うまでもない。

レースは2号艇からインを奪った西野翔太が逃げて先行。残る5艇で2着争いは接戦になったが、1周2マークを先に回った5号艇の山口広樹を6号艇の森野正弘が差して決着。その後方、ターン出口で3号艇の北川敏弘と差した4



号艇加藤政彦が激しく接触。北川が転覆した。はるか前方にいる5号艇の山口はまったく絡んでおらず、妨害を取られるなら明らかに4号艇の加藤だった。なぜ、そんな誤審が発生したのか詳細は発表されておらず不明。

間違っただけと判定された5号艇の山口には失格盤が表示されていたものの、身に覚えのない山口は何のことも分からず3着のままゴール。しかし、妨害失格が宣告されていたので舟券は21611で確定がすぐに出された。本当なら21615が的中だったにもかかわらず…。

レース場側は誤審を認めたものの、対応はあまりにも遅かった。本来ならレース直後に取るべき対応「舟券を大切に保管して欲しいなどの呼びかけ等」は最終12Rが終わった後。ネット投票なら何も問題は無いが、紙の舟券を買ったファンがそんな時間まで外れた舟券を持っているはずがない。

また、誤審で妨害失格となった山口への対応もひどすぎる。本当なら準優に乗れていたにもかかわらず間違っただけの妨害の判定はすぐに訂正されず、賞典除外扱いとなった。なぜ、こんなことがまかり通ったのか不思議でならない。

この原稿を書いている時点（4月21日）で、最終的にどのような対応が取られるかは発表されていないが、オフィシャルホームページには「払戻金相当額のお支払い等の対応を検討中」とある。2018年の門別競馬で発生した事

象（1、2着馬を間違える誤審）の時に取られた対応（間違っただけも正確な方も払い戻し）を参考に、21615（オッズは64・9倍）の舟券を買っていたファンにも納得してもらえる対応をしていければいいのだが…。

ちなみにこのレースの売り上げは3873万4100円。そのうち3連単は3667万2100円で、21615的の中は4237票、すなわち42万3700円分あると推測される。あとは81万7400円の売り上げがあった3連複、10万7000円の売り上げがあった払戻複も保障されなければならない。この続報はまた次号でお伝えする。

## ボート界に燃料革命 バイオ燃料エンジン使用開始

5月1日から新エンジンが導入されるびわこオールレディーズから、ボート界に燃料革命が巻き起こる。バイオ燃料といわれるエタノールを30%配合したガソリン（通称E30ガソリン）が使用されることが発表された。E30ガソリンの使用は事業部門としては日本初の試みで、従来と比較して12%から15%のCO2の削減が見込まれるという。

あくまでも試行期間として7月までの実施を予定しているが、何も問題がなければ8月以降も継続。また、6月22日からは第2弾



マクールトピックス

として大村でも導入。ゆくゆくは全国24場すべてがE30ガソリンに変わる予定だ。

選手はボートレーサー養成所で実際にE30ガソリンにはすでに乗艇済み。「あまり違和感はない」という声が多いのだが、中には「体重差が今まで以上に顕著になりそう」や、「インが強くなりそう」という声もある。

ちなみにエンジン自体の仕様には大きな変化はなく、一部部品の交換だけで現状のエンジンでも対応できるという。

### 秋山直之引退

3月17日に山口県岩国市内の商業施設で窃盗罪で逮捕され、その後、略式起訴で罰金20万円という報道もあった秋山直之さん（群馬46歳83期）が4月21日に引退届けを提出し受理された。

98年11月デビューの83期。デビュー期に5・96の勝率を残しているが、5期目からA1級常連は早く、3年目にはGI出場、4年目には多摩川関東ダービーでGI制覇と尼崎オールスターでSGデビューも飾った。SG出場は92回で優出3回。GIは優出9回で5回の優勝がある。

差しに行つて大けがをした経験から、道中は外マイを選択するようになり、誰も真似ができない道

中でのスピード満点の全速ターンが最大の武器だった。

通算成績は6707走で勝率7・03、1784勝、優出301回、優勝80回。生涯獲得賞金は約10億5853万円。現役最後のレースは3月15日の三国。

### 日高逸子が休養を発表



4月8日に5月の常滑レディオールスターを含めF休みまでに入っていた全てのあっせんが削除された日高逸子が休養を宣言した。

日高は前期、12月に蒲郡、3月に大村でFを切つてF2。1本目のF休みは消化していたが、2本目の休みが5月19日から7月17日まで。4月最初の桐生ヴィーナスを途中帰郷した後、4月の津一般

戦、宮島一般戦、5月の芦屋GW戦、そして常滑レディオールスターの4節分のあっせんを全て辞退した。

その理由については、「体は大丈夫ですが、しばらく休みたくなりました」とスポーツ報知の取材に答えていた。「復帰したら、またよろしく願います」とも答えており、誰もが一瞬、頭をよぎったであろう引退宣言ではなかった。あっせん辞退は8月10日まで提出しているようだが、いつまで休んでいつ復帰するのは明言していない。

### 枝尾賢が半年ぶりに復帰

昨年10月6日、浜名湖周年出走中に脳梗塞を発症し、治療とリハ



ビリに励んでいた枝尾賢が、4月9日の若松から半年ぶりに実戦に復帰。いきなり優出の活躍を見せた。

枝尾の節間成績は32213②④。2日目9Rでインから逃げて復帰後初勝利を飾り、準優も3号艇から2着に食い込んだ。他の選手たちからは「本当に半年も休んでいたの？」と突っ込まれるほど。枝尾本人は復帰にあたり「（1着が）1本でも取れば…と思っていたので、優出までできて良かった」とホッとした表情だった。

幹旋課からは次々と追加の要請が来たようだが、まだ無理はしたくないということで、当分は間隔を空けての参戦予定。4月22日からの大村の後は5月19日からの徳山、5月31日からの蒲郡まで予定が決まっている。

### 西橋奈未が約3週間で復帰

先月号で3月15日の丸亀で頭蓋骨折などの重傷を負ったことをお伝えした西橋奈未が、4月3日からの宮島周年から実戦復帰した。

初日に3着、2日目は5着2本と苦戦したが、3日目から3連勝で予選を5位通過の活躍。男女混合のGIでは23年3月の地元三国周年以来、2回目の予選突破だった。準優は2コースからスタートで後手を踏んでしまい、優出はならなかったものの、最終日の前半



レースで節間4勝目をマーク（後半11Rは打ち切り）。大けがからの復帰戦とは思えない走りで見事に元気な姿を届けた。



### 宮島周年優勝戦が中止

4月8日の宮島周年最終日は強風に見舞われてしまい、11、12Rが中止打ち切り。すなわち優勝戦自体が中止となってしまった。

この日の九州、中国地方は強風に見舞われ、若松が早々に中止順延を発表したほか、ルーキー戦を開催中だった下関でも、4Rと5Rの間に1時間以上もレースを見合わせるなんてこともあったほど。宮島は1Rが5メートルの向かい風だったが徐々に強まり、7メートルになった5Rから安定板

を装着。8Rからは2周戦に短縮されていた。9Rから10Rの間は1時間ほどレース開始を見合わせ10Rまでは開催できたが、11Rの展示が終了した16時26分に中止の決断が下された。

ポールポジションの1号艇は圧倒的な節イチパワーだった中野次郎。23年9月の住之江高松宮記念以来のGI優出で15年3月の多摩川周年以来、10年ぶり6回目のGI制覇が目前だった。地元周年初制覇に燃える山口剛も4号艇にいた。

GI優勝戦が悪天候のため中止になったのは台風の影響により9R以降が打ち切りになった95年7月の徳山周年以来で約30年ぶり。この時の1号艇は今村暢孝。6号艇には地元は今村豊さんもいた。

なお、優出メンバーのオーシャンカップポイントだが、残念ながら1点加算されるだけ。優勝戦で完走すれば6着でも3点あるもので、やむを得ない中止の場合は最低でも3点加算でいいのではないだろうか。ただ、これまで優出していなかっただ選手に対しては優出が認められて隠れポイントが浮上する。

### 津周年準優で24万シユー

4月8日の津周年5日目準優10RでGIの準優としては最高配当となる3連単で24万7330円の高額配当が飛び出した。今年はず



土屋智則

表1 津周年10R準優勝戦

着	枠	選手名	進入	ST	タイム
1	⑥	土屋 智則	6	16	1.49.6
2	⑤	柳生 泰二	5	27	1.51.4
3	③	新田 雄史	3	14	1.52.9
4	①	井上 一輝	1	14	1.53.0
5	②	稲田 浩二	2	12	
6	④	佐藤隆太郎	4	04	
2連単 ⑥-⑤			49410円	30番人気	差し
3連単 ⑥-⑤-③			247330円	119番人気	

月の唐津周年でGI最高配当となる36万60円の配当も出たばかりだが、GIで歴代5位となる高額配当。立役者になったのは土屋智則、柳生泰二の97期コンビ。レースは

### 2024年度の売り上げ

2024年度の総売り上げが発表された。

4年連続で記録更新となる2兆5227億8258万2100円で前年比104.1%。そのうち電話投票の売り上げは2兆124億2105万1600円で前年比105.8%。総売り上げに占める割合は79.8%となっている。

総利用者は4億6923万8631人で前年比102.5%。

表2 最近10年間の年度総売り上げ

年度	総売り上げ	歴代順位
2024	2,522,782,582,100	歴代1位
2023	2,422,012,440,400	歴代2位
2022	2,414,246,891,800	歴代3位
2021	2,392,621,261,100	歴代4位
2020	2,095,142,178,000	歴代7位
2019	1,543,492,451,500	
2018	1,372,792,640,700	
2017	1,237,880,607,300	
2016	1,111,151,064,600	
2015	1,042,282,409,300	

開催日数は4623日で23年度より4日だけ多かった。場別の売り上げでは約1921億5409万円を売り上げた大村が5年連続のトップ。2位の住之江、3位の蒲郡も5年連続で同じ順位。

**平高奈菜、三浦永理らが女子戦準優で  
五反田忍は女子戦優勝戦でF**

4月11日の常滑オールレディース5日目準優12Rで三浦永理、平高奈菜、水野望美の3人による集団Fが発生した。

インの三浦がコマ06、2コース平高がコマ08、3コースの地元水野がコマ07と3人そろって非常識なF。風速5メートルの強い向かい風が吹いており、11Rではトップスタートの選手でもコマ26と、いわゆるスタートが届か



三浦永理

**選手の負傷情報**

石丸海渡Ⅱ 4月10日丸亀一般戦4日目5Rの1周1マークで1号

女子戦の準優Fの罰則は休み明けから3か月の女子戦出場停止。3人ともそれが解除されるのは9月下旬もしくは10月上旬なので、3人とも8月の浜名湖レディースチャンピオンは出場できない。また、翌12日の優勝戦では五反田忍が4コースからコマ01のF。優勝戦Fの罰則により、五反田は休み明けから半年間、女子戦には出場できない。



平高奈菜

**今月の水神祭**

艇(妨害)と接触して転覆。後続の3号艇が避け切れずに接触した際に負傷。左上腕骨挫傷で全治見込みは2か月。栗原謙治Ⅱ 4月18日多摩川一般戦初日4Rの3周バックストレッチで内側の艇と接触して落水した際に負傷。右下腿骨折で全治見込みは未定。

(初勝利)  
4月9日 榎葉新心(徳島133期)  
4月19日 吉田一心(大阪135期)  
(GI初優勝)  
4月9日 菅 章哉(徳島105期)

榎葉次郎、岩崎芳美夫婦の娘・榎葉新心が地元鳴門の女子対決番組で3コースからの全速まくりで



菅 章哉

初勝利。昨年12月8日の戸田で負傷し欠場していた父は4月3日の若松から実戦復帰したばかりで、榎葉家にとってはうれしいニュースが重なった。133期の未勝利選手は残り6人となった。135期の吉田一心は蒲郡の6



吉田一心



榎葉新心

表4 レディースチャンピオン出場権争い

順	登番	選手名	勝率
前V	4502	遠藤 エミ	7.07
	4183	宇野 弥生	6.03
	4482	守屋 美穂	7.28
	4590	渡邊 優美	7.07
	4433	川野 芽唯	6.55
	4190	長嶋 万記	6.49
	5174	川井 萌	6.45
	5163	清水 愛海	6.31
	4642	松尾 夏海	6.30
	3232	山川美由紀	6.24
	4845	前田 紗希	6.15
	4804	高田ひかる	6.04
	3611	岩崎 芳美	5.96
	4017	向井 美鈴	5.82
	4447	深川麻奈美	5.81
16	4546	浜田亜理沙	7.04
17	3435	寺田 千恵	6.99
18	4225	土屋 千明	6.89
19	4963	實森 美祐	6.79
20	4123	細川 裕子	6.66
21	4387	平山 智加	6.66
22	3645	浅田千亜希	6.64
23	4961	西橋 奈未	6.57
24	4456	鎌倉 涼	6.50
25	4530	小野 生奈	6.49
26	4304	藤崎小百合	6.35
27	4627	藤原 菜希	6.34
28	3999	大瀧明日香	6.28
29	3845	中谷 朋子	6.28
30	4884	勝浦 真帆	6.27
31	4825	倉持 莉々	6.26
32	4347	魚谷 香織	6.24
33	5088	高懂 四季	6.16
34	4689	豊田 結	6.13
35	4240	今井 裕梨	6.11
36	4611	今井 美亜	6.10
37	4478	櫻本あゆみ	6.03
38	3618	海野ゆかり	6.01
39	4117	廣中智紗衣	6.01
40	5205	刑部亜里紗	6.01
41	4373	若狭奈美子	6.00
42	4746	大豆生田蒼	5.99
43	4927	関野 文	5.98
44	5129	山口真喜子	5.94
45	4536	喜井つかさ	5.93
46	4690	高石 梨菜	5.91
47	4286	平田さやか	5.87
48	4473	藤堂 里香	5.85
49	3900	香川 素子	5.82
50	4758	富樫 麗加	5.81
51	4773	中川 りな	5.79
52	4065	金田 幸子	5.77
53	4738	清楚 翔子	5.75
54	4289	落合 直子	5.74
55	4014	片岡 恵里	5.72
56	4791	黒澤めぐみ	5.68
57	4399	松本 晶恵	5.64
58	4900	中田 夕貴	5.63
59	4994	山本 梨菜	5.63
60	5218	山田 理央	5.61
61	4519	清水 沙樹	5.55
62	4819	蜂須 瑞生	5.52
63	4589	塩崎 桐加	5.52
64	4938	小芦るり華	5.50
65	4501	樋口由加里	5.48
66	4891	寺島 美里	5.46
67	5057	上田 紗奈	5.43
68	3994	小野 桜	5.38
69	3474	松瀬 弘美	5.38
70	4569	中澤 宏奈	5.37

8月6日から浜名湖で開催されるレディースチャンピオンの選考期間は5月いっぱい。昨年のポーターは5・53だったが、今年はそれよりもかなり高め。

三浦永理の不参加が確定してしまつた地元静岡勢は長嶋万記と川井萌がオールレディース優勝による優先権を持ち、刑部亜里紗もほぼ安全圏。昨年10月から1年9か

### レディースチャンピオン選考順位

コースからまくり差して勝利。同期では宮崎心之介に続くまだ2人目というさみしい状況ではあるが、ここ数年はデビュー期の水神祭が3、4人（131期だけは多く7人）という状況が続いているだけに、今さら驚くことではないのかも知れない。

津周年を予選トップからの王道で制覇した菅章哉は、GI出場43節、5回目の優出で悲願達成となった。105期では磯部誠、佐藤翼に続く3人目のGI覇者。

クラシック制覇の佐藤隆太郎が早くも6千万円台を突破してぶっちぎりのトップ。GI2勝の毒島誠を抑えて茅原悠紀が2位、宮地元輝が3位というのも今年の2人の優出ラッシュを考えれば不思議でも何でもない。10位の馬場貴也までがすでに3千万円台を超えている。

女子では初代スピードクイーン

### 賞金ランキング

月ぶりに復帰した豊田結の選考順位34位だが、出走回数不足で選考除外になる可能性がある。

主力陣では三浦永理以外にも平高奈菜と田口節子の不参加が確定している代わりに、昨年不出場だった守屋美穂、高田ひかる、倉持莉々、西橋奈未らが戻ってくる。

ポーター下には清楚翔子や落合直子、松本晶恵、堀之内紀代子らの名前もあり、昨年出場した選手のうち17人がポーターの下にいる状況。

表3-2 女子獲得賞金ベスト30

順	選手名	獲得賞金額
1	平高 奈菜	26,563,065
2	守屋 美穂	15,511,532
3	川野 芽唯	13,828,000
4	遠藤 エミ	13,745,332
5	浜田亜理沙	12,981,000
6	渡邊 優美	12,540,000
7	三浦 永理	12,504,546
8	海野ゆかり	12,120,000
9	川井 萌	12,088,089
10	實森 美祐	11,189,066
11	岩崎 芳美	10,709,000
12	寺田 千恵	10,657,000
13	長嶋 万記	10,598,813
14	宇野 弥生	10,381,066
15	勝浦 真帆	10,237,066
16	山川美由紀	10,068,733
17	清楚 翔子	9,995,000
18	田口 節子	9,663,000
19	山口真喜子	9,648,000
20	高田ひかる	9,374,023
21	土屋 千明	9,268,000
22	今井 裕梨	9,081,066
23	細川 裕子	9,040,813
24	清水 沙樹	8,998,000
25	関野 文	8,892,000
26	向井 美鈴	8,781,000
27	山田 理央	8,728,000
28	鎌倉 涼	8,556,466
29	若狭奈美子	8,490,066
30	平山 智加	8,263,733

表3-1 獲得賞金ベスト30

順	選手名	獲得賞金額
1	佐藤隆太郎	61,579,533
2	茅原 悠紀	45,817,000
3	宮地 元輝	45,322,466
4	毒島 誠	40,732,000
5	上條 暢嵩	34,305,666
6	池田 浩二	32,383,533
7	磯部 誠	32,187,546
8	菅 章哉	32,072,733
9	桐生 順平	31,738,666
10	馬場 貴也	30,290,000
11	塩田 北斗	29,907,854
12	山田 康二	29,822,000
13	西山 貴浩	27,319,466
14	井口 佳典	26,621,756
15	平高 奈菜	26,563,065
16	土屋 智則	26,457,000
17	石渡 鉄兵	26,434,000
18	仲谷 颯仁	25,872,000
19	末永 和也	25,611,666
20	新田 雄史	25,088,837
21	渡邊 和将	24,532,000
22	山口 剛	24,051,666
23	稲田 浩二	23,249,000
24	島村 隆幸	22,880,733
25	平本 真之	21,947,546
26	関 浩哉	21,724,000
27	井上 一輝	20,964,000
28	山崎 郡	20,807,000
29	吉川 元浩	20,760,000
30	中野 次郎	20,400,166

メモリアルの覇者となった平高奈菜がトップに君臨し、全体でも15位の好位置。一般戦回りが続き、さすがの優出ラッシュを見せている守屋美穂が2位。